

基礎から理解するディープラーニング

～分析モデルをブラックボックスにしないために

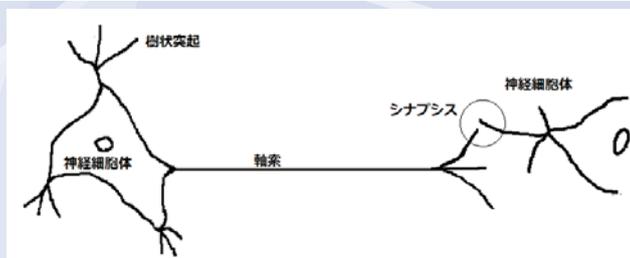


講師

朝野 熙彦

元都立大学教授

講師略歴 (→ウィキペディア)



ディープラーニングは、人間の認識と理解をコンピュータに学習させる機械学習の手法のひとつです。人工知能(AI)の急速な発展を支える技術であり、その進歩により様々な分野への実用化が進み画像認識や自然言語処理などに利用されています。

便利なソフトウェアとライブラリのおかげで利用のハードルは低くなりましたが、伝統的な統計分析とどこが違うのか？アウトプットはもちろん理論の本体までブラックボックス化して、もやもやしているマーケティング・リサーチャーもおられるのではないかと思います。

マーケティング・リサーチャーが長年慣れ親しんできた統計分析は機械学習では要らなくなったのか？もう最小二乗法と回帰分析に出番はないのか？あるいはそうではないのかなど疑問はたくさんあると思います。

本セミナーでは、伝統的な統計学がディープラーニングにどう接合されるのかを解き明かします。実は機械が学習を進める内部メカニズムはそう難しいものではないので、その気になれば半日で理解できるでしょう。

ディープラーニングをビジネスに展開することはもちろん大切ですが、その前にマーケティング・リサーチャー自身が、ディープラーニングをゼロから学んで、一層の確信をもって実務に導入する後押しになれば幸いです。

- 日時 2019年10月23日(水) 13:00～17:00
- 場所 JMRA 研修室
- 対象 正会員・賛助法人会員の社員、賛助個人会員
- 定員 30名
- 参加費 3,000円+税
- お申し込み

<https://www.jmra-net.or.jp/activities/seminar/2019/20191023.html>



JMRA チュートリアル・セミナーのご案内

第2回 2019年11月29日(金)

MR会社の現場で役立つ人工知能の利活用ユースケース

講師：佐藤 哲也 (株式会社アンド・ディ代表取締役)

佐藤 暢章 (株式会社インテージヘルスケア執行役員)

第3回 2020年1月23日(木)

各種分析ソフトウェアの実装と使用例(仮)

講師：(調整中)